



文化博物館だより

第560号

2020年9月30日

今回の博物館だよりは、開催中の企画展「明石藩の世界Ⅷ—米と酒づくり—」の関連イベントと、次回企画展「発掘された明石の歴史展～明石の港津～」、「明石の秋祭り写真コンテスト」のご案内をお届けします。
連携事業 シンポジウム「明石城を探る」が開催されました～企画展「明石藩の世界Ⅷ—米と酒づくり—」(9月22日)



基調講演のようす

連携事業 シンポジウム「明石城を探る」が開催されました(明石葵会主催)。基調講演では藤田 裕嗣氏(神戸大学大学院人文学研究科教授)と大国 正美氏(神戸深江生活文化史料館館長)をお迎えし、「歴史地理学の観点から見た播磨・明石城下町の特徴」、「絵図でよみがえる城と城下町」について、それぞれお話しされました。

当選された35名の参加者のみなさんは熱心に受講され、明石城についてより一層理解を深められたのではないのでしょうか。



シンポジウムのようす

10月31日より開幕! 企画展「発掘された明石の歴史展～明石の港津～」

古代から、明石は畿内と西国との境界でした。行き交う船が、潮待ちや夜の航行を避けて停泊する重要な港でもありました。また、明石で生産された品々を、都や各地へ運ぶ船運の拠点でもありました。本展では、二見・魚住・林・明石・大蔵などの港や、その周辺の遺跡から出土した古代から近世の遺物を通し、港を中心に展開してきた明石の歴史を読み解きます。

《関連イベント》

講演会とシンポジウム ※要申込み ※要観覧料

日時: 11月7日(土) 13:00～16:30

場所: 当館2階大会議室

第1部 春成 秀爾氏(国立歴史民俗博物館名誉教授)

「明石津の始まり」

第2部 高橋 明裕氏(神戸大学非常勤講師)

「古代・中世の魚住泊」

第3部 シンポジウム

パネラー: 春成 秀爾氏・高橋 明裕氏

コーディネーター: 丸山 潔氏(明石市史編さん委員)

定員: 40名 参加費: 無料(当日有効の観覧券が必要です)

申し込み方法: 10月3日(土) 10:00～ **先着40名 電話受付**

TEL 078-918-5629 明石市文化振興課文化財係

会期: 2020年10月31日(土)～12月6日(日)

月曜休館(但し11月23日は開館)

開館時間: 9時30分～18時30分(入館は18時まで)

観覧料: 大人200円、大高生150円、中学生以下無料

2歳の方からマスクの着用、検温、入館者記録票のご記入をお願いします。



古代魚住泊の突堤の基礎に使用されていた木材



奈良時代のイタコ壺や製塩土器など(赤根川遺跡)

募集します♪「明石の秋祭り写真コンテスト～プレイバック、あかしの秋祭り～」

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、秋祭りもそのほとんどが中止となりました。そこで今回は平成期(1989年～2018年)に開催された祭りをテーマとして、往時の熱気に思いを馳せる写真コンテストを開催いたします。自慢の作品をぜひご応募ください。

募集作品: 平成期(1989年～2018年)に撮影した、未発表の明石の秋祭りの写真

・祭り振り返り部門

平成期の間に撮影された未発表の明石市内の秋祭り写真、1人5点まで

撮影年月日と当時の思い出を記述、なお、博物館でデータ化し、応募作品は返却

表彰: 各部門とも優秀賞(3点)クオカード5千円分

応募方法: 写真が現物の場合は写真と応募申込票を当館までお持ちください。

データ化してお返しします。

または、下記メールアドレスまでデータを送付ください。(但し2MBまで)

応募期間: 10月1日(木)～11月17日(火) 必着

応募要項など詳しくは、当館ホームページで確認



前回の展示のようす

企画展「明石藩の世界Ⅷ—米と酒づくり—」

会期: 2020年9月12日(土)～10月18日(日)

月曜休館(但し9月21日は開館)

開館時間: 9時30分～18時30分(入館は18時まで)

観覧料: 大人200円、大高生150円、中学生以下無料

2歳の方からマスクの着用、検温、入館者記録票のご記入をお願いします。

詳しい展覧会情報は当館HPをご覧ください。

<http://www.akashibunpaku.com/>



おもしろい たのしい
来て、見て、発見!

ぶんぱくGO!!